

# 一般質問

# 町政を問う



岩崎 正春議員

## Q 町財政・税収対策は

**議員** 公債負担比率も改善し、徐々に健全化しているが、財政指数等はまだまだ低いので税収対策はどのように考えているか。

**町長** 人口減による減収が続いているが、若者が働ける場所の確保が急務で、雇用が見込められるようになれば、必要に応じて住環境の整備も視野に入れて、町税の税収につなげていきたい。

**議員** 消費税が8%以上がった場合の地方消費税の見込額は。

**企画財政課長** 平成26年4月に予定どおり消費税率が8%に引き上げられた場合、国税部分が6.3%、地方消費税交付金として1.7%が交付されることとなっており、これを平成24年度決算に置きかえてみますと、1

億3,500万円ほどと思われる。

**議員** TPPから受ける町の農業に対する影響は調査しているか。

**産業振興課長** TPP参加による影響はないと試算しており、こんにゃく、ねぎに関しては近々に影響が出るということはな

いとの意見が多い。  
**議員** 塩漬けになつている町有地の有効活用は。

**町長** 国で奨励している代替エネルギーの太陽光発電の設置等も進めて、企業の協力を得られるかというところで手がけている。基本としては町有地を売れるところは売って、また有効利用できるところはしたいという考え方で進めてまいりたい。

## Q 世界遺産荒船風穴について

**議員** 風穴改修工事と世界遺産登録後の訪問者の受け入れ対策は。

**教育課長** 荒船風穴は、史跡の場所であるとか交通の環境からしまして、大型バスによります一般的な団体ツアーの対象には比較的ににくいのではというふうに考えており、来場者の著しい一時的な急増や、その後の急速な減少とか、そういったことは他の世界遺産に認定された遺産ほどではないのではというふうに考えている。既に県及び関係機関の支援を受け、道路の整備、駐車場の整備、2次交通の検討、ボランティアガイド養成等推進しているが、今後の見学者の増加に向けまして、より一層の環境整備が必要、たというふう

に考えている。  
**荒船風穴**は世界文化遺産登録も目指している。季節に応じた景観、自然体験ができる力を持っているものと考えており、

育機能や郷土愛の醸成を図っていきたい。

**議員** ジオパークエリアの見直しは。

**ジオパーク推進室長** 多野郡内の町村も含めた広域周遊できるコース設定が重要と考えており、藤岡行政事務所長にお会いし、広域について協力をお願いをした。やはり広域での取り組みのほうからより支援を受けやすくなると考えている。



荒船風穴